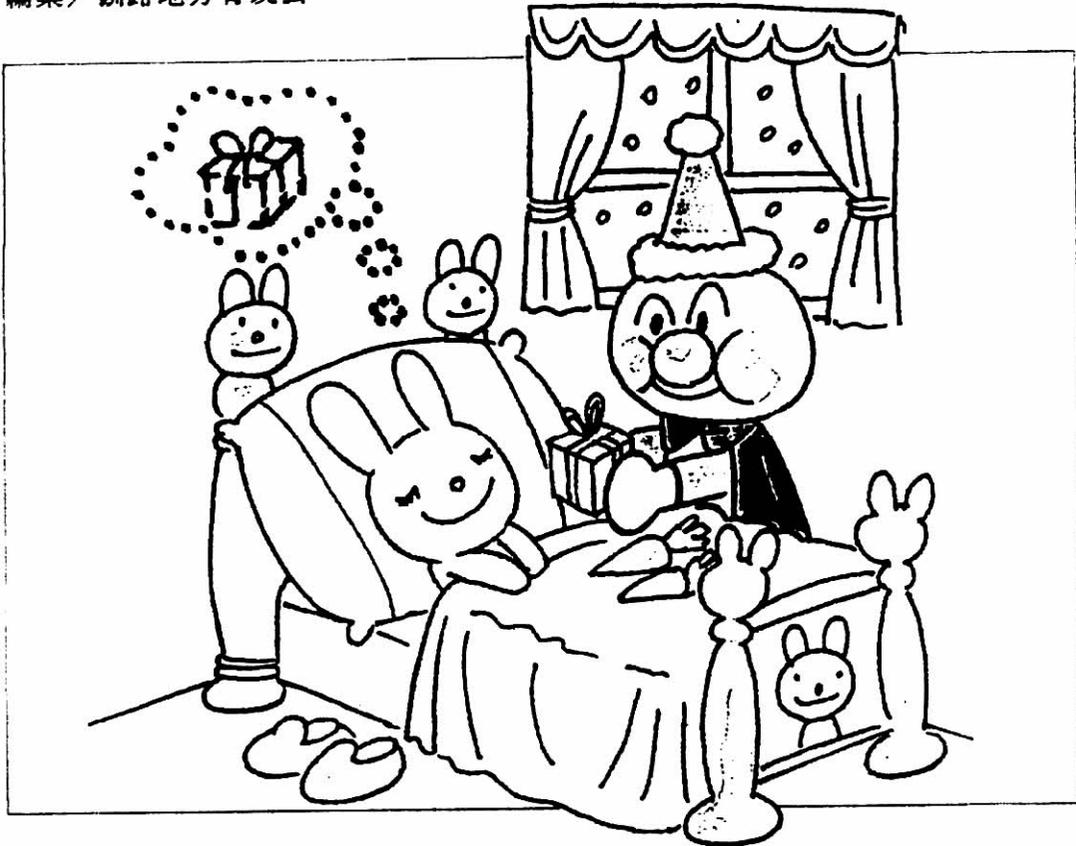


たんちよう

No. 111
12月号

HSK

編集／釧路地方腎友会



【目次】

シャント	1
要望書	2・3
戦後流行語	3
根室地方のまわり—《岡田 昌治》	4
腎移植と私—《工藤 信博》	5・6
わが街・うまいもの探望	7
クロスワードパズル	8
会員の動向	9

釧路市の腎友会事務所の設置なるか

釧路市腎友会 会長 上田 弘

釧路地方腎友会発足以来、腎友会の事務所は10数年間にわたり、釧路市立病院・林田クリニックの御好意により、透析患者の更衣室を利用させてもらっています。

これは、あくまでも一時的な仮の住まいであり、常に将来的には患者会（腎友会）専用の事務所を確保できるように模索しておりました。

特に最近では患者数の増加にともない、資料・備品の増加に加え、各種連絡・相談などが増え、また、腎友会の活動内容も多様化してきており、以前から専用の事務所の必要性を痛感していたところがあります。

この願いをかなえてもらうべく、何とか来年度に向けて、釧路市所管の施設内に腎友会の事務所を設置していただきました。

いいと思います、釧路市の予算編成時期にあわせ、別紙のとおり要望書を釧路市長あてに提出したものです。

その時に対応して下さった、釧路市の福祉部長さんの話された感触では、『事務所用の部屋がなんと確保されるのでは』という雰囲気であり、『まるで可能性なし』という状況でないことは確かでありました。

さて、この事務所のスペースが、実際に確保されたとした場合に、各患者会（腎友会）として、いくつか解決しなければならぬ問題点があります。

それは、

①腎友会の単独事務所にするか、または難病連釧路支部と共同の事務所とするかです。

②事務所運営資金の問題

③事務所員の配置体制をどうするか

④事務所用備品が、どの程度必要か

など、当面する課題があり、今後、各患者会、特に難病連釧路支部との調整が必要になってきます。腎友会内部としては、腎友会活動の体制整備とともに、会

員各位の積極的な御協力をお願いしなければなりません。また、事務所が有効活用されるためのお知恵を拝借しなければなりません。

事務所が確保されることにより、10数年間にわたる腎友会に関する各種資料を一ヶ所に整理・集約されるため、今後、誰もがその資料を必要な時に利用し、活用することができるようになります。

また、役員並びに会員さん方により所となり、腎友会活動の拠点となるよう効率的な運用をはかり、活動の更なる発展につながるよう考えなければなりません。

少なからず困難性をともなう事実が出ると思いますが、会員諸氏の積極的・前進的な協力により、困難な部分を克服していき、腎友会の発展につなげましょう。



要 望 書

平成元年11月 日

釧路市長
鶴田修之 様

釧路市新富町1番7号
林田クリニック内
釧路地方腎友会
会 長 上 田 弘

要望項目

釧路地方腎友会の事務所用スペースを確保願います。

要望理由

私達は、人工透析を受けながら、社会の一員として懸命に社会復帰を続けている、身体障害者一級（内部）に認定されている人工透析患者であります。

主に人工透析患者で組織している釧路地方腎友会は、昭和51年に釧路・根室支庁管内を管轄区域として結成され、現在204名の会員で組織され、釧路市内にも100名を超える会員（透析患者）が居住しております。

すでに御承知の事と思いますが、人工透析を受けている患者が、健常者と同じ生活を送るには、腎臓移植を行う以外に方法はなく、私どものような慢性腎不全患者が生命を保持するには、人工透析を生涯続けなければなりません。

人工透析治療は、患者さん個々の状態によりますが、大部分の人は決められた病院で、一週間に3回、一回に4～5時間を必要とします。

透析患者は、近年特に増加傾向にあり、新しい患者さんが発生した場合には、日常生活の相談・年金・医療費など、各種の相談をする特定の場所がなく、不安を持ちながら透析に導入されるのが実態であります。

また、患者さん達は、治ることのない病氣と闘いながら、生活上並びに病氣

に対する不安を常に持ちながら、会員同志の経験交流と長期透析者との話合いをする事により悩みを解消することもあり、腎友会の存在が非常に大きな役目をはたし、患者さんが社会復帰に専念出来る良い結果となっております。

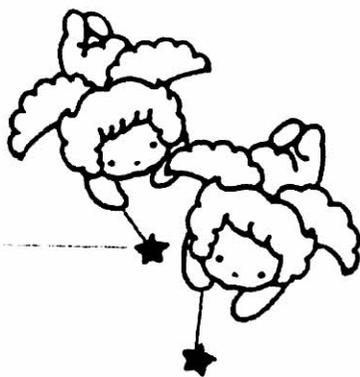
釧路地方腎友会では、患者さんがいつでも相談にいき、自分の悩み話せる場所を設置することが永年の懸案事項でありました。

患者数の増加により、釧路地方腎友会の会員も多くなり、各種の活動・連絡・情報収集など、事務局業務の多様化・各種資料の増加などもあり、釧路地方腎友会事務局の必要性を痛感しているところであります。

そこで、釧路市で管理している施設に、釧路地方腎友会の事務所として利用出来るスペースを確保して頂きたく要望致します。

なお、釧路地方腎友会は、北海道難病連の組織にも加入しており、この事務所が難病連釧路支部と共同利用出来るようになれば、多くの難病患者の相談窓口ともなり、孤独で相談するところがなく悩んでおられる難病患者さんにも、有効活用出来るものと思います。

どうか、釧路市役所管理下の施設に『釧路地方腎友会の相談室兼事務所』として利用出来るスペースを、一室確保して下さいますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。



戦後流行語

流行言葉でみた時代の風景。なつかしく思われる方がいるかも……。あなたの生まれた年にはこんな事が(戦前生まれの方、ゴメンナサイ)

●昭和47年

列島改造論で、法断と実行の田中内閣が、日中復交をなした。中国語「ニーハオ(今日は)」はやり、上野のパンダも人気者に。政権を争う「三角大福」。若さだよ、ヤマちゃん。「恥ずかしながら」、「あつしにはかわりのねえ」。そして「恍惚の人」。総括とリンチの連合赤軍。

●昭和48年

オイルショックに狂乱物価、省エネ、SF「日本沈没」がミリオンセラーに。せまい日本をなかに抱いてどこへ行く。じつと我慢の子であった。米軍はベトナムから撤退し、全大中事件起こる。「地本主義」「デマゴン」「ぐうたら」「いまなんどきてすかあ」「即ち」。

●昭和49年

田中金脈内閣から、三木首相へキレキ内閣へ。即ちは美徳とうたわれ、「やさしさ」の時代になった。超能力にストーリーキング。CMは

根室地方腎友会からの
近況報告が届きました

根室地方のまわり

釧路地方腎友会会員の皆さん、こんにちは。

根室の近況をお知らせします。

根室地方には、透析施設が一ヶ所しかなく、市立根室病院に透析室が出来たのは昭和五十八年二月。ベット数が六台、患者数が三名、スタッフが四名で始まり、今ではベット数が十一台、患者数が二十七名、会員が二十名です。

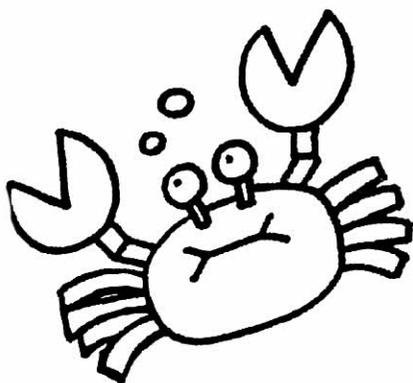
月・水・金には二部制で行っています。管内に施設が一ヶ所しかなく、地方の患者さんは通院が出来ず、入院かまた市内に部屋を借りています。

腎友会の方は、昭和六十三年四月から始まり、今年で二年目になります。その前までは、釧路地方腎友会の会員として活動してきましたが、上田会長さんから『そろそろ独立しては』と言ったことで、発会しました。

年間の行事としては、野遊会・キャンプ・新年会・旅行が主な行事で、街頭キヤンペーンや、釧路地方腎友会と共に年賀状の郵旋もやっています。会の運営にとても助かっています。

患者増加と共に、医療費が問題になってきています。会活動としてお互いに頑張りましょう。

根室地方腎友会・岡田



「それは言える」何々と日記には書いておこう」このシゲキがたまらないのです」。「英語でやってみよう」。

●昭和50年

クリーン二本にクリーン・フォー、長島茂雄のクリーン・ペースポールなど、クリーンはやり。ツッパリ、「チカレタビー」。「あんなあの娘のなんなのさ」わたしをする人、あなたいする人「ひと味ちがいます」。「泳げたいやきくん」。「オヨヨ」。

●昭和51年

黒いビーナッツ、記憶にございません。「はしやぎ過ぎたよ」三木おろし。灰色高官政権のあとがまを「受け皿」、偏差値万能の世に「鳴呼ノ花の応援団」から「クエツクエツ」。

●昭和52年

「よつしやよつしや」の田中角栄被告。この年「円高」で「ドル二四〇円高」魚ころがし。「ルーツ」によりルーツ探しブーム。若者はモラトリアム人間に。カラオケ、ジヨギングがはやり。「頼んでる女」。「普通の女の子に戻りたい」。

●昭和53年

「不確実性の時代」。「窓際族」。「ナシチャッチャ」「ファイバー」。「全方

シリーズ 腎移植

腎移植と私

《釧路市立病院》 工藤信博

皆様お元気ですか。

私は昭和六十二年六月

十一日、兄から左側の腎臓をもらい、右下腹部に移植しました。早いもので

で、移植後二年五ヶ月の歳月が経過しました。兄の健康は左腎摘出前と大きな変化はなく、元気に仕事をしており、何よりも喜ばしいことと思っています。

今は五、六ヶ月に一度の割合で腎機能、肝機能などの検査をしています。特に薬などを飲む必要もなく、普通の生活をおくっており、安心していきます。

腎移植体制が整備され、組織適合性検査の進歩や新しい免疫抑制剤の開発などにより、腎移植はある意味では身近なものになったとはいえ、大切な腎臓を移植するという貴重な機会に巡り合え、それが実現できたことに心から感謝しています。

私が慢性腎不全で人工透析を受け始めたのは、昭和六十一年四月一日、三十五

歳の時でした。導入時の不安と水分制限に耐えながら週三回の夜間透析を一年二月月受けました。この間、健康の大切さを身にしみて感じ、障害を持つ身であっても積極的な人生を送っている多くの人に巡り合い、そして多くの人にお世話になりました。

水分制限に慣れる間もないとき、兄が腎臓の提供を承諾してくれました。移植手術の前後の様子を思い出してみると次のようです。

昭和六十一年八月上旬

兄が腎臓を提供することを承諾

昭和六十一年十一月下旬

市立札幌病院にて組織適合性検査

昭和六十二年六月四日

移植のため市立札幌病院に入院

昭和六十二年六月十一日

移植手術

昭和六十二年六月十三日

水分制限解除

位外交」「足切り」「あんたが主役」アール大平政権誕生。「嫌煙権」「地方の時代」「私きらい？」と問いかける「口裂け女」「ワンパターソン」。

●昭和54年

自民党から大平、福田の二人が首相候補に立つ。「四〇日抗争」。グラマン疑惑に沈黙は患者の知恵」とウソぶく松野頼三代議士。「ウサギ小屋」「カラー」「ヤミー」「激し」のことははやる。「関白宣言」「インペーダー」「エガワる」「グサイ」「ジャパン・アズ・ナンパーワン」。

●昭和55年

解散、ダブル選挙、大平首相息死、自民大勝、鈴木意外性内閣誕生。「幕があくまえに芝居が終わっていた」。「それなりに」がはやった。「赤信号みんなて渡ればこわくない」「カアチャンヤス」「ハハキトク」「カラスの初子」「ウー」「ウー」「ピッカピカ」「首の子族」「買春観光」「四〇〇しでードモアゼル」。

●昭和56年

公共事業をめぐる政官財癒着を、「日本鉄合列島」という。ロッキード公判で飛び出した「ノチのひと刺し」。定年退職者を「粗大ゴミ」と呼ぶ。「熟年」「青い鳥症候群」

昭和六十二年六月十四日

クレアチニン十五代から二代に下降

昭和六十二年六月二十五日

兄退院

昭和六十二年七月十八日

再手術

昭和六十二年八月十七日

本人退院

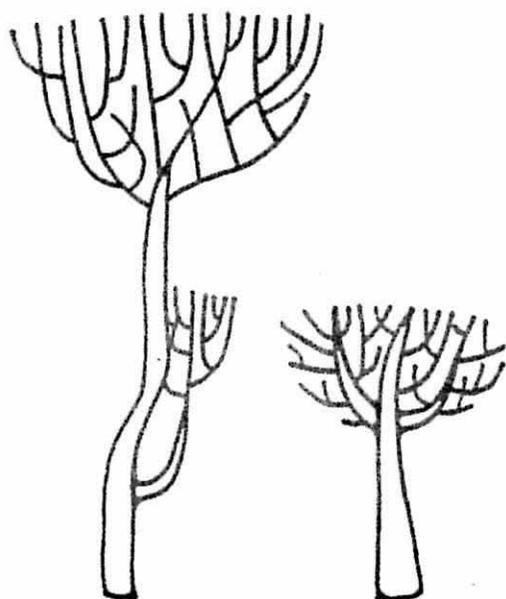
昭和六十三年六月十一日

クレアチニン上昇のため市立釧路総合病院に入院

平成一年六月七日

二十四時間シクロスポリン血中濃度

検査及び腎生検のために市立札幌病院に入院



移植手術をして人工透析を受ける必要がなくなった現在は、いろいろな制約から解放され、移植後の自己管理（免疫抑制剤などの薬を忘れずに飲むこと、無理をして再び腎不全になる場合が多いのに注意すること、その他）にも徐々に慣れ、一般の健康な人と大差ない生活を送っています。このように元気に働けるのは、兄を始め、病院の先生や看護婦さん、職場の皆さんの協力によるもので、心から感謝しております。

最後になりましたが、皆さんご慈愛しますます元気で生活されることを心からお祈り致しております。

「クリスタル族」「ぶりっ子」。若者は「えぐい」をカッコイイの意味に使い、「ウツソー、ホントー、カワユイ」で万事OK。「んちゃ」などマンガことばもはやる。

●昭和57年

事件風俗化の年であった。日航機羽田事故から「逆噴射」「心身症」「機長/何をやるんですか」。ホテル・ニュージャパンの火事は「横井商法」。鈴木首相は「ZENKOWHO?」で引退。「根暗」「ルンルン」「おいしい生活」「ほとんどビヨーキ」はやる。

●昭和58年

テレビ小説から「おしんブーム」にわいた。田中判決選挙で自民大敗、新自由クラブとの「ミニ連立」でしのご。中曽根首相は「日本列島不沈空母」を言い、レーガンとの関係を「ロン・ヤス」「軽薄短小」「勝手連」「イトモ輪/」「気くばり」「いかに一般大衆が喜びそうか」「ニヤンニヤン」。

●昭和59年

ロン・ヤス再選の年であった。事件は「かい人21面相」。ここから「情報犯」「劇場犯罪」「犯罪の芸能化」が言われた。㊦、㊧。九割が中流意識という時代に。「パフォーマ

わが街 望の探

中国料理

陽 陽 亭

釧路市新富町十五の十九

電話 二一六三八八

二四一三〇二五

今回のお店は、中国料理・陽陽亭です。開店は六十年五月で、店主は札幌市内のホテルで四年、釧路パシフィックホテルで七年の経験があり、腕前はなかなかのものです。

人気メニューは、『あんかけ焼きそば』『チャーハン』『五目ラーメン』『肉ニラ定食』『中華風焼肉定食』と、メニューもそろっており、ポリウムもたっぷりです。お腹がいっぱいになります。注文の時に、薄味にたのむと好みの味にしてくれます。

昼時は大変混みあい、出前もあります。カウンター五人、小上がり二人。朝十一時/夜八時三十分まで。毎週・日曜日は定休日です。

回転式オードブルを、一万円で年末には注文受付しております。



「ススキゾ、パラノ」「イッキイッキ」「ちやつぶいちやつぶい」「ピーターパン症候群」「くれない族」ロス五輪は、コマースヤリンビック。

●昭和60年

田中角栄被告の脳卒中で「角抜き」政界が、日航ジャンボ機墜落で五二〇人死亡。「ダッチロール」が流行語に。「ロス疑惑」「三浦現象」「ペーパー商法」輸入ワインによる「ブレンドワイン」「分衆・少衆」写真週刊誌が「FFする」時代に新人類。

●昭和61年

中曽根首相の「知的水準」発言が民族差別発言にまで発展した。脳の回路が切れた感じが「ぶっつん」。究極のグルメ志向は「美味しんぼ」新人類相場は「かわいもの知らず」。企業も個人も「財テク」に精を出す。「激辛」「男女均等元年」「フリ現象」。

●昭和62年

みんな「中曽根さんのおかげです」。ウンをつくことを「ナカソネる」と言う。防衛費一割増突破。エイズ元年。ドル一五〇円台の円高不況。なに世界は「ジャパン・プロブレム」「ジャパン・パッシング」「ジャパン・マネー」等々。

Challenge

34

人生 クロスワード

解き方

各マスにカタカナを一文字ずつ入れてください。最後にローマ字の数字マスの七文字をABC順につなぐと、答えの言葉ができます。

ヒント

大いにふくらましたい。



みなさん
応募してネ

「オモシロイヒト」

十月号のクイズワードクイズの答え
今回は応募者九名でしたので、応募者全員に記念品を差し上げます。

- 菅 田 良 博 子 (市) 坂 野 ミツ子 (厚)
- 渋谷 敏 彦 (林) 波 佐 谷 純 考 (厚)
- 阿 部 芳 雄 (厚) 吉 田 勝 (厚)
- 佐 藤 友 子 (厚) 永 田 耕 三 郎 (厚)
- 伊 藤 由 美 子 (厚)

1	2	3	4	5	6
	ラ				C
7				8	モ
9			10	E	
				マ	
12	13			14	
E	A				
15	リ			16	17
		18		ギ	19
					ダ
20	21			22	
	テ				D
23					G

- ◎下記応募用紙に答えを記入し、下記編集部まで
- 正解者の中から抽選で、10名様に記念品を贈ります。
- ◎正解・当選発表は二月号で
- ◎締切は、一月二十七日(土)必着
- ◎宛先は、釧路市新富町1-7
林田クリニック内
釧路地方腎友会編集部まで。

ヨコのカギ

- ①人気女優の一人の——知世。
- ②寂情によって改題したり、絶筆ししたりすることもある。
- ③そのままでは食べられない種です。
- ④ほくのいうことを、ちよつと——してくれ。
- ⑤女の子です。元はアメリカの谷語。
- ⑥今はつらいがここが——のしどころだ。
- ⑦あんな——な男のいうこと信用するなよ。
- ⑧「グリーン車かい?」「いや 茶煙車だから——車だ」
- ⑨開くと花になる。
- ⑩日光などのある果です。
- ⑪酔って——を巻く人もいる。
- ⑫やることガ——に回ってはどうしても不利になる。
- ⑬石の細工をする職人。
- ⑭これは女性しかかからないガンです。

タテのカギ

- ①「——と死者」はアメリカのメーラーの小説。
- ②一箱の男女がいつしかメーラーの——。
- ③これはお宿に精めませう。
- ④誰か隠れたかわからない——異踏会。
- ⑤——を旅するおひいり。
- ⑥悪いものを持ったお宿にたむことあり。薄いお宿。
- ⑦おひいり。
- ⑧北海道にすむ特別天然記念物のツル。
- ⑨田がりながら進むへじ。
- ⑩キリスト教の教会でいじり。
- ⑪女の——を愛せ。
- ⑫ハンコウ。

氏名	病院名	A	答
		B	
		C	
		D	
		E	
		F	
		G	

◆新会員◆

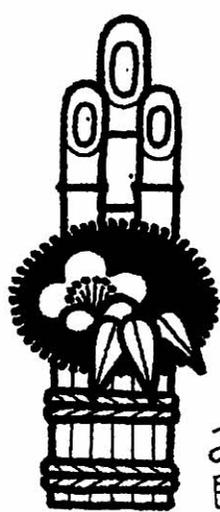
狩野	豊	広	(協立)	十月	より
大	嘉	七	(林田)	十一月	より
桜	新	一	(林田)	十一月	より
中	菊	枝	(市立)	十一月	より
及	初	枝	(市立)	十一月	より
山	憲	雄	(市立)	十二月	より
加賀	勝	義	(市立)	十一月	より

◆死亡◆

佐藤 栄子 (日赤)

原稿募集。

みんなの機内紙「たんちよう」!!
 お気軽に原稿をお寄せ下さい。
 お待ちしております。
 何んでもOK!!
 編集室

みなさん
 良いお正月を迎えて下さい!

雑誌「たんちよう」第三種郵便物認可
 平成元年一月十日発行 毎月一箇十日発行 HSK通巻二二二号
 発行・北陸信託局印刷部定刊行物協会 編集・劉路地方賢友会